

2024年2月2日

各位

(公社)日本鑄造工学会 東海支部
鑄造先端プロセス研究部会
部会長 田村 卓也

第106回 鑄造先端プロセス研究部会の御案内

拝啓 時下益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

今回は、「高次元データ解析・可視化・マイニング」を主テーマとして開催したいと考えております。万障お繰り合わせの上、御出席下さいますようお願い申し上げます。また、ぜひご興味がありそうな方への社内展開を行って頂ければ幸いです。

敬 具

記

日 時 2024年3月27日(水) 13:30~16:50
場 所 愛知県産業労働センター(ウインクあいち)13階 1308会議室
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38
開催方法 名古屋ウインクあいちを拠点にWeb会議(Teams)を開催致します。
会議室参加 もしくは Web参加 をご記入ください。 Web参加の方には3月26日(火)午後に招待メールを送付いたします。アクセス可能となる時間は当日の13:00~です。

議 事 テーマ「高次元データ解析・可視化・マイニング」

13:30~13:35 部会長挨拶、事務局連絡

13:35~14:45 基調講演「予防保全・予知保全を実現する診断技術とシステム構築」
株式会社 トクヤマ 森 圭史 氏

製造業では、労働人口の減少による人手不足の解消や国際競争力強化を図るため、AI や IoT など新しい技術を活用することで省人化・自動化による生産性の効率化が進められている。それに伴い生産設備の高稼働率が強く求められており、設備管理の重要性が以前よりも高まっている。当社では、状態基準保全(CBM)による予防保全に加え、振動のセンシング技術開発や AI、ICT 技術によって網羅性・予見性を高めたデータ解析プラットフォームの構築を目指しており、データに基づいた寿命予測など予知保全による設備管理の高度化に向けた取り組みを実施しており、その取り組みについて紹介する。

14:45~14:55 休憩

14:55~16:15 基調講演「高次元データ解析・可視化ソフトウェア『toorPIA(トピア)』のご紹介」
株式会社 toor 高枝 佳男 氏、矢野 弘海 氏

森氏の基調講演内でも使用された IoT など取得された多様なデータを、品質管理、設備管理、生産性向上に活用するための高次元データ解析、可視化ソフトウェア『toorPIA』を、デモや操作体験を交えて紹介する。

16:15~16:45 委員講演「MAI-Lab(マイラボ)ご紹介」
株式会社 マルエム商会 大橋 清子 氏

マルエム商会と名古屋工業大学との NEDO 共同研究を通じたデータ活用基盤の取組みと、名古屋工業大学内に設置されたオープンイノベーション施設「MAI-Lab」における toorPIA の評価・実証メニューを紹介する。

16:45~16:50 その他

追伸

研究部会終了後、皆様方の交流を深めるために情報交換会を開催いたします。積極的にご参加を頂き交流を深めて頂ければ幸いです。

時間:17:00~20:00頃

場所:嘉文 センチュリー豊田ビル店

会費:1名 4,000円(当日申し受けます)

※E-mail、または、申込フォームにて、2024年3月26日(火)12時までにご連絡をお願い致します。

申し込み受付フォーム: <https://forms.office.com/r/R76YYKx3KF>

E-mail アドレス: M-c-sentan-ml@aist.go.jp

以上